

小金井市長期計画起草委員会（第4回）次第

■環境と都市基盤／地域と経済

日時 令和2年2月17日（月）午前10時から

場所 前原暫定集会施設C会議室

■子どもと教育／福祉と健康

日時 令和2年2月5日（水）午後6時30分から

場所 市役所第二庁舎601会議室

■文化と生涯学習／行政運営

日時 令和2年2月7日（金）午後6時30分から

場所 市役所第二庁舎601会議室

【次第】

- 1 第5次小金井市前期基本計画について
- 2 その他

【配布資料】

別紙配布資料一覧のとおり

小金井市長期計画起草委員会（第5回）次第

■環境と都市基盤／地域と経済

日時 令和2年2月25日（火）午後6時30分時から

場所 市役所第二庁舎601会議室

■子どもと教育／福祉と健康

日時 令和2年2月13日（木）午後6時30分から

場所 市役所第二庁舎601会議室

■文化と生涯学習／行政運営

日時 令和2年2月28日（金）午後6時30分から

場所 前原暫定集会施設B会議室

【次第】

- 1 第5次小金井市前期基本計画について
- 2 その他

【配布資料】

別紙配布資料一覧のとおり

小金井市長期計画起草委員会

配付資料一覧

	No.	資料名	備考
第1回 (9/4) (9/13)	1	政策の取組方針（案）	【当日配布】
	2	審議会意見まとめ	【当日配布】
	3	政策と施策分野のイメージ	【当日配布】
第2回 (9/12) (9/24) (9/25)	4	政策の取組方針（環境・都市基盤、地域・経済）（案）	【当日配布】
	5	政策の取組方針（文化・生涯学習、行政経営）（案）	【当日配布】
	6	政策の取組方針（子ども・教育、福祉・健康）（案）	【当日配布】
第3回 (1/10) (1/17) (1/20)	7	市民懇談会開催報告書	【事前配布】
	8	第5次小金井市前期基本計画（素案）施策頁抜粋（令和元年12月27日現在）	【事前配布】
	9	施策ごとの事業例	【事前配布】
第4回 (2/5) (2/7) (2/17)	10	施策頁の構成	
	11	審議会意見まとめ（基本計画）	
第5回 (2/13) (2/25) (2/28)	12	市民懇談会意見（該当箇所抜粋）	
	13	「目指す姿」修正案	
	14	各課への事前質問回答（令和2年2月5日現在）	
	14-2	各課への事前質問回答（令和2年2月17日現在）	

施策頁の構成

■ 目指す姿

【内容】5年後(前期基本計画終了時)に私たちが目指す姿

【表記】体言止め

- ・〇〇することで、〇〇するまち
- ・〇〇し、〇〇するまち

※ たたき台を提示し、起草委員会(4~6回)で確認いただきます。

(例)

美しく質の高いみどりと水を私たちみんなの力で適切に保全・活用し、豊かな自然と都市が調和した将来世代に誇れるまち

■ 現状

【内容】施策の取組の状況

※社会の動向・潮流などの「現状」ではなく、市の取組の「現状」

【表記】文章(ですます調)

- ・〇〇を進めています／〇〇を実施しています

(例)

○清掃関連施設整備基本計画に基づき、不燃・粗大ごみ積替・保管施設、資源物処理施設の整備を推進しています。

■ 課題

【内容】施策における課題

※「社会的な課題」ではなく、「施策を進める上での課題」

※全ての課題ではなく、施策を進める上での「主な」課題

【表記】文章

- ・〇〇が必要です／〇〇が求められます／〇〇が重要です

※ 文章の方が表現として柔らかく、細かなニュアンスが表せるため

(例:文章) 環境啓発事業の推進と市民協働の充実が重要です

(例:体言止め) 環境啓発事業と市民協働の不足

…否定的になり、現状を拡大していくニュアンスが入れづらい。

(例)

●公園、緑地などの効率的な維持管理や適正配置が必要です

■ 施策の方向性

【内容】課題を踏まえて、これから私たちが施策を進める方向性

※施策や事業によって「市」が主語となることはある

※全ての事業ではなく「課題」を解消し「目指す姿」を実現するため、特に取り組むものを抽出している。

【表記】

■タイトル 体言止め・名詞

■内容 文章(ですます調)

(例)

③美しいまちづくりの推進

私たちみんなで美化活動を推進するとともに、市内におけるごみのポイ捨て・不法投棄などの防止に向けて、環境美化意識の定着に向けた取組を推進します。

■ 指標

【内容】

・施策の結果、市民の意識・行動の変化をはかる指標(アンケート)

・施策の進捗をはかる指標

※可能な限り数値的・客観的な指標とする。

【表記】

・アンケート指標は原則アンケート項目と表現を同一とする。

・計画上注記は付けない(巻末用語集に掲載する)。

(例)

指標	現状値	目標値
3Rに取り組んでいる市民の割合(アンケート)		
市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量		

審議会意見まとめ(基本計画)

1 環境と都市基盤

No.	各委員から文案に入れる内容としていただいた御意見 (基本構想で取り込んだものを除く・類似意見は集約)	施策	基本計画文案 該当箇所	概要
1	My tree 一個人が木の世話をする。管理の問題	施策1	施策の方向性①	環境美化サポーターや地域ボランティアなどによる公園等の維持管理を進めている。
2	緑地の維持(生産緑地問題)、対外アピール	施策1	施策の方向性②	環境保全緑地制度の周知、生産緑地の保全について記載している。
3	ごみにする前の資源化	施策2	施策の方向性②	発生抑制(リデュース)を最優先とした3Rの推進について記載している。
4	資源回収箱市内設置	施策2	—	発生抑制を最優先とする考えで、回収箱の設置ではなく、戸別収集を実施している。なお、公共施設や一部の協力店舗で資源物の回収を行っている。
5	分別徹底	施策2	施策の方向性②	分別徹底はリサイクルの1つであり3Rの表記に含む。
6	遊歩道と街道を緑でつなぐ	施策4	施策の方向性①	「みどりのネットワーク化」で表現。具体的な取組は都市計画マスタープランの中でまちづくりの構想を検討する。
7	タテを緑道に。小金井公園と武蔵野・野川公園をつなぐ。	施策4	施策の方向性②	「みどりと水のネットワーク形成」で表現。具体的な取組は都市計画マスタープランの中で検討する。
8	遊歩道の活用	施策4	施策の方向性①	「歩道の緑化」などで表現。具体的な取組は都市計画マスタープランの中で検討する。
9	小金井の坂道問題への対策(高齢化社会の到来に向け)	施策4	施策の方向性①	「バリアフリー化」などで表現。具体的な取組は都市計画マスタープランの中で検討する。
10	学園都市の特徴	施策4	施策の方向性①	小金井市らしい魅力の例として学園都市を記載している。
11	家のメンテナンス情報提供	施策5	—	住宅施策の中で実施しているが、詳細事業のため、記載はしていない。
12	老朽化した上下水道問題への対策	施策6	施策の方向性⑥	上水道は東京都の事業であるため、取組としては記載していないが、下水道の維持管理について記載している。
13	無電柱化の促進(防災対策として)	施策6	施策の方向性③	無電柱化の推進について記載している。
14	交通インフラ(道路・鉄道)整備	施策6 施策7	(施策6) 施策の方向性①～④ (施策7) 施策の方向性①	生活道路、都市計画道路等の整備、バリアフリー化などについて記載。鉄道については、施策7目指す姿の「円滑で利便性に優れた」に含む。
15	道路整備、交通整備	施策6 施策7	(施策6) 施策の方向性①～④ (施策7) 施策の方向性①～②	道路整備、バリアフリー化、交通安全について記載している。
16	バス便の整備・追加	施策7	施策の方向性⑥ 目指す姿	「CoCoバスの再編」、目指す姿の「円滑で利便性に優れた」に含む。

2地域と経済

No.	各委員から文案に入れる内容としていただいた御意見 (基本構想で取り込んだものを除く・類似意見は集約)	施策	基本計画文案 該当箇所	概要
17	防災に、多様な災害を想定した準備(避難所運営等)があるとよい	施策8	施策の方向性 ①、④	防災訓練、災害への備えについて記載。詳細は個別計画に記載している。なお、「現状」の最終行にも記載している。
18	オレオレ詐欺にスポットライトを当てては。	施策9	施策の方向性①	日々生まれる新しい手口の犯罪の抑止について記載している。
19	空き家の積極的活用	施策9	施策の方向性②	空家等対策について記載している。
20	子育てしながら仕事できる場所、企業誘致	施策10	施策の方向性②	地域資源、既存ストックの活用の中で、創業支援、市内定着の促進を行っている。
21	市内学術機関との連携によるインキュベーション	施策10	施策の方向性②	市内学術機関との連携には限らない創業支援について記載している。
22	商店街の活性化	施策10	施策の方向性①	商工業の活性化の中に記載している。
23	産業での後継問題で、後継者が展望を持てる事業転換の推進	施策10	施策の方向性②	事業者の経営安定化のための制度について記載している。
24	大型店舗だけでなく小規模商店にも目を向ける	施策10	施策の方向性①	商工会や観光まちおこし協会との連携による小規模商店への支援を想定している。
25	ふるさと納税返礼品による小金井の魅力向上。	施策10	施策の方向性④	ふるさと納税による地域の魅力発信について記載している。
26	農家の意欲向上	施策11	施策の方向性①	担い手の確保・育成について記載している。
27	農地活用(グリーンインフラ)	施策11	施策の方向性②	農地の多面的機能としての内の活用・保全について記載している。
28	地産地消(給食)	施策11	施策の方向性③	学校給食や市内飲食店での地場産農産物の利用促進について記載している。
29	食の安心・安全、農業体験	施策11	施策の方向性 ②④	積極的なPR、市民農園、学童農園などの活用について記載している。

3子どもと教育

No.	各委員から文案に入れる内容としていただいた御意見 (基本構想で取り込んだものを除く・類似意見は集約)	施策	基本計画文案 該当箇所	概要
30	保育園の環境整備	施策13	施策の方向性①	保育サービスの拡充にて記載している。
31	待機児童対策	施策13	施策の方向性①	保育サービスの拡充にて記載している。
32	学童の環境整備	施策13	施策の方向性①	学童保育所の運営・整備について記載している。
33	待機児童ゼロ	施策13	施策の方向性①	待機児解消に向けた取組と記載している。
34	市全域にコミュニティスクール創設。地域が子どもを支える。	施策14	施策の方向性①	学校を含めた地域で子どもを育てることについて記載。詳細は個別の事業や計画で検討している。
35	いじめゼロ	施策15	施策の方向性③	いじめをしない、させない体制の構築について記載している。
36	小金井市ならではの特色が1つくらいあってもよいのでは。	—	—	小金井市ならではの特色は記載できていない。

4文化と生涯学習

No.	各委員から文案に入れる内容としていただいた御意見 (基本構想で取り込んだものを除く・類似意見は集約)	施策	基本計画文案 該当箇所	概要
37	芸術文化活動の施設整備	施策17	施策の方向性①	施設整備については公共施設マネジメントの中で検討していくが、事業の運営体制の充実について記載している。
38	小金井市の歴史や文化を継承する	施策20	施策の方向性③	郷土意識の喚起の中で記載している。
39	学んできた文化・教養の次世代への継承	施策20	施策の方向性②	生涯学習によって得た知識や経験を地域活動につなげていかしていくことを記載している。
40	生涯学習やスポーツに市内の学術機関の活用のニュアンス	施策20 施策21	(施策20) 施策の方向性① (施策21) 施策の方向性①	学校等との機能連携について記載している。
41	スポーツに取り組む人の努力が見える化するシステムを作る	施策21	施策の方向性②	学校等の施設利用について記載している。 民間の力を活用しながら、誰もが楽しむことができる事業の実施について記載している。

5福祉と健康

No.	各委員から文案に入れる内容としていただいた御意見 (基本構想で取り込んだものを除く・類似意見は集約)	施策	基本計画文案 該当箇所	概要
42	新福祉会館完成を見据えた文言	施策22	施策の方向性⑦	(仮称)新福祉会館に設置予定の福祉総合相談窓口について記載している。
43	福祉に携わるスタッフが長く続けられる仕組み	施策22	施策の方向性③	福祉を担う人材への支援について記載している。
44	シルバー人材センターへの補助金増加	施策23	—	シルバー人材センターの活用については記載している。
45	孤独死ゼロ。独居老人対策。安否確認	施策23	施策の方向性 ①～③	高齢者の社会参加、生きがいの支援などについて記載している。
46	高齢者の健診率向上	施策26	施策の方向性⑤	高齢者だけに限らない形で、健診情報の発信を記載。指標にも設定している。
47	食育	施策26	施策の方向性④	保健事業の充実の具体例として記載している。
48	内臓や歯の健康への市のバックアップ	施策26	施策の方向性④	保健事業、健診情報について記載している。
49	医師の確保・整備	施策26	施策の方向性②	医療体制の充実について記載している。
50	引きこもりゼロ	施策22 施策26	施策の方向性⑦ 施策の方向性②	福祉総合相談窓口について記載している。 心の健康相談の一環として記載している。 相談内容は多岐にわたることから引きこもりについて特記はしない。
51	誰でも食堂	—	—	該当施策がないため記載していない。

6行政運営

No.	各委員から文案に入れる内容としていただいた御意見 (基本構想で取り込んだものを除く・類似意見は集約)	施策	基本計画文案 該当箇所	概要
52	若者の市民参加の推進を明示してはどうか	施策27	施策の方向性①	若者世代や子育て世代の市政参加について記載している。
53	市民参加推進会議の意向や要望を確認できるとよい。	施策27	現状	市民参加推進会議の提言について記載している。
54	協働において、行政と市民ボランティアの機能を明確にする。 行政がコーディネーターでありボランティアが仕事を行う役である。	施策27	施策の方向性②	協働の人づくりの中で記載しているが、役割分担はケースバイケースでもあり、記載はしていない。
55	市民の自由さと行政の権威性をあわせもった広報を。	施策28	施策の方向性④	市と市民が連携して発信できる仕組みについて記載している。
56	市民向け情報端末等インフラ整備	施策29	施策の方向性⑤	市民を意識したICTの活用、行政サービスのデジタル化について記載している。
57	新庁舎・(仮称)新福祉会館建設についての言及	施策29	施策の方向性②	施設建設について記載している。
58	公共施設のユニバーサルデザイン化、既存施設の有効活用	施策29	施策の方向性③	公共施設マネジメントについて記載している。

市民懇談会意見(該当箇所抜粋)

No.	分野	意見	施策	対応
27	環境と都市基盤	歩道が狭く、通行する車を危険に感じる地域がある。子どもや高齢者など、交通弱者が安心して歩くことのできる道路にしてもらいたい。	施策6	施策6施策の方向性①「生活道路の整備」、施策7施策の方向性①「バリアフリーの推進」で、歩行者の安全性・快適性について記載している。
9	地域と経済	防災に関する記述が弱い気がする。構想で十分に打ち出せなければ、個々の施策も弱くなるのではないか。	施策8	基本計画にて「防災」の施策を独立して設定している。
33	地域と経済	防災・減災という観点から市の設備を見直すとともに、公園などの既存の資源の活用について見なおすべきである。	施策8	施策の方向性にて、まちの変化と連動した地域防災計画の修正を記載している。
35	地域と経済	商店街はもっと活気がある方が良い。大きな商業施設がない中でにぎわいをつくろうとすると、小さい商店が元気なまちをつくっていく。そこから人の輪ができて、つながっていくようなまちづくりが望ましい。	施策10	施策の方向性①「商工業の活性化」で、御意見の趣旨を踏まえた記載をしている。
10	子どもと教育	子どもの権利について、市民に浸透していないと思うので、明示してもらいたい。	施策12	目指す姿に「子どもの権利」の記載。課題・施策の方向性③でも記載している。
11	子どもと教育	子どもが地域とつながっていないという状況がある。習い事を優先させられ、地域とつながりが無いのだと思うが、子どもの権利条約で掲げられている休むことや遊び、文化的体験が保障されていないと言ってもよい。それを地域ぐるみで保障することをメッセージとして打ち出してもよいのではないか。	施策12	施策の方向性②「豊かな体験や仲間づくりの支援」④「子どもの社会参画・意思の尊重」にて記載している。
12	子どもと教育	構想では教育の対象となる子どもと、子育てをする保護者に関する考え方は示されているが、教育に関わる教員や保育士に対する考え方は書かれていない。施す側のやる気も考えた方がよいのではないか。	施策13 施策15	教員や保育士に対する考え方は個別計画に示されているが、施策の中では、主要な事業である子ども・保護者に関わることを中心に記載している。
46	子どもと教育	子どもがコミュニティに参加していないため、何かあったときに孤立するのではないかと不安に思う。自然にいろいろなコミュニティに触れられる機会があると良い。	施策12	施策の方向性①「子どもの居場所の提供」、②「豊かな体験や仲間づくりの支援」にて、子どものコミュニティ参加機会について記載している。

No.	分野	意見	施策	対応
48	子どもと教育	将来像に「つなごう人の輪」があるのであれば、子どもたちの輪も考えてもらいたい。子ども同士がつながることができることを、計画に盛り込んでもらいたい。	施策 12	施策の方向性①「子どもの居場所の提供」、②「豊かな体験や仲間づくりの支援」にて、子どものコミュニティ参加機会について記載している。
49	子どもと教育	子どもの居場所が高齢者の居場所と切り離されている必要はない。福祉分野の施策とも連携させながら検討いただきたい。	施策 12	施策の方向性①「子どもの居場所の提供」で異世代交流について記載している。
54	子どもと教育	孤立しがちで、祖父や祖母にも預けられないので、自分ひとりで抱えてしまうことがあるのだと思う。子育ての楽しさや、悩みを話せるような、お母さんたちの居場所みたいなものがあるといいと思う。	施策 13	施策の方向性③「切れ目のない支援体制の充実」で、相談体制・情報提供の充実について記載している。
15	文化と生涯学習	生涯学習のイメージは退職された方の楽しみである。若者の生涯学習という観点がないように感じるので考えてもらいたい。	施策 20	「誰もが」で生涯学習は年齢にかかわらないことを表現している。子どもや若い世代については、施策の方向性②③に記載している。
58	文化と生涯学習	学校や児童館の施設を十分に活用する工夫をしないまま、図書館や福祉会館等において子どものスペースを確保しようとしている点が気になる。子どもに視点が偏りすぎているのではないか。		
61	文化と生涯学習	生涯学習活動を行うにあたり、小金井市は集会施設が使えなかったりして極端に施設が少ない。また、現状の施設も使い勝手が悪く、人的なサポートも十分ではない。市民に運営を任せるといった発想があってもいいのではないか。アイデアのいる市民がいるはずなので、活用できるとよい。また、行政同士の連携もしてほしい。	施策 20	施策の方向性①で、生涯学習活動の拠点整備、他自治体等との連携について記載している。
16	福祉と健康	自立は大事だが、自立を強調しすぎていて、自立できない人への対応があまり見えてこない。	施策 22～25	施策 22 から 25 まで、各福祉分野における自立支援について記載している。
18	行政運営	基本構想に示されている協働は、個人と行政がつながるイメージである。NPOのような団体との協働もあるはずではないか。地元企業が少ないので難しいかもしれないが、法人格をもった団体も少なくないので、地域資源として協働していくような視点も入れてほしい。	施策 27	協働は、個人・団体にかかわらず進めており、広く「市民」と表現している。
68	行政運営	小金井市では市民活動は盛んであるが、担い手が高齢化している。若い世代が担い手になってもらえるよう、世代間で人の輪をつないでいくことを考えてもらいたい。	施策 27	施策の方向性①で、若年層の市政参加について記載している。
73	行政運営	協働というものの、協働のための仕組みが整っていない。市民団体は自分たちのことで精いっぱいだったりするので、行政や団体同士をつなぐコーディネーターのような人材が必要ではないか。	施策 27	施策の方向性②で、コーディネートできる人材について記載している。

No.	分野	意見	施策	対応
17	行政運営	インフラを多数抱え、それを維持することも大変だと思うが、市民感覚からすると市民活動にとっては十分ではないと感じる。設備も老朽化してきている。受益者負担を増やす、運営の一部を市民に任せるなど、もう少し市民の力を活用してはどうか。みんな痛みを分かちあう、みんなでつくっていくということをもよいと思う。	施策 27 施策 29	施策 27 として「市民参加・協働」の施策を独立して設定し、また施策 29 施策の方向性③「公共施設マネジメントの推進」④「持続可能な財政運営の実現」の中に意見と同様の趣旨の記載をしている。
82	行政運営	市内の様々な活動を組織的にプロモーションしていくような仕組みがあるとよい。	施策 28	施策の方向性④で、シティプロモーションの取組について記載している。
21	行政運営	持続可能な運営を可能にするためには財政健全化が必要であり、税収を増やすという考え方を持ってもよいと思う。地域経済が発展していくため何をしたらよいのか、明確に打ち出した方がよい。	施策 29	施策の方向性④「持続可能な財政運営の実現」にて趣旨を踏まえた記載。詳細は行財政改革に係る個別計画で定める。
83	行政運営	全体的に税収を獲得する、増やしていくという施策をもう少し盛り込んでもよいのではないか。そのためには市内において経済活性化に取り組む組織を明確に位置づけるべきだとも思う。	施策 29	施策の方向性④「持続可能な財政運営の実現」にて趣旨を踏まえた記載。詳細は行財政改革に係る個別計画で定める。
69	行政運営	広域地域の連携が必要。地域防災の関係は特に大切だと思う。	施策 29	施策の方向性⑦で、災害協定を含む広域連携について記載している。
70	行政運営	道路整備やごみ処理について、小金井市だけの問題ではない。周辺自治体や東京都と連携しながら、もっともよいかたちを検討する必要がある。市民も主体性をもって小金井市に求めることを発信し、広域的にみて調和的に発展できるとよい。	施策 29	施策の方向性⑦で、他自治体との広域連携について記載している。

(番号は、長期計画審議会資料37-2「市民懇談会開催報告書」に掲載した番号)

「目指す姿」修正案

政策	施策	目指す姿	修正案
環境と都市基盤	1 みどりとの環境整備	美しく質の高いみどりと水を私たちみんなの力で適切に保全・活用し、豊かな自然と都市が調和した将来世代に誇れるまちを目指します。	美しく質の高いみどりと水を私たちみんなの力で適切に保全・活用し、豊かな自然と都市が調和した将来世代に誇れるまち
	2 循環型社会の形成	私たちが一体となって3Rの推進に取り組み、循環型都市『ごみゼロタウン小金井』を目指します。	私たちが一体となって3Rに取り組む、循環型都市『ごみゼロタウン小金井』
	3 環境保全の推進	私たち一人ひとりが自主、自律的に環境保全行動を実践し、エネルギー使用の抑制や環境負荷軽減などの地球温暖化対策などを推進することによって、公害が少なく、環境にやさしいまちを目指します。	私たち一人ひとりが自主、自律的に環境保全行動を実践し、エネルギー使用の抑制や環境負荷軽減などの地球温暖化対策などを推進することによる、公害が少なく、環境にやさしいまち
	4 市街地の整備	魅力的な市街地、まちの顔となる駅周辺の整備を進め、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまちを実現します。	魅力的な市街地、まちの顔となる駅周辺の整備を進め、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまち
	5 住環境の整備	宅地内の緑化推進、良質な住宅の供給、施設の耐震化や長寿命化、バリアフリー化の推進などにより、自然と調和した、快適かつ安全で住み心地のよいまちにします。	宅地内の緑化推進、良質な住宅の供給、施設の耐震化や長寿命化、バリアフリー化の推進などによる、自然と調和した、快適かつ安全で住み心地のよいまち
	6 都市インフラの整備	利便性の高い道路ネットワークの構築と災害に強い安全で安心な都市基盤を整備し、それを適切に維持管理していくことによって、快適なまちを目指します。	利便性の高い道路ネットワークの構築と災害に強い安全で安心な都市基盤を整備し、適切に維持管理していく快適なまち
	7 交通環境の整備	円滑で利便性に優れた移動手段を構築し、通行上の安全性を確保することによって、安全かつ快適に人が行き交うまちにします。	円滑で利便性の高い移動手段を構築し、通行上の安全性を確保することにより、安全かつ快適に人が行き交うまち
地域と経済	8 防災態勢の整備	私たち一人ひとりが災害に備え、互いに助け合うことのできる「人の輪」をつなげ、災害に強いまちを目指します。	私たち一人ひとりが災害に備え、互いに助け合うことのできる「人の輪」をつなげる、災害に強いまち
	9 地域の安全・安心の向上	防犯意識の向上、犯罪や消費者トラブルの未然防止などの推進、関係機関との防犯協力体制の構築により、安全で安心して暮らすことができる生活環境の確保を目指します。	防犯意識の向上、犯罪や消費者トラブルの未然防止などの推進、関係機関との防犯協力体制の構築により、安全で安心して暮らすことができるまち
	10 産業・観光の振興	多様で豊かな市民力あふれる生活都市にふさわしいビジネスの創出・育成を目指し、付加価値を高め、継続的に育てる、ふれあいと活力のあるまちを実現します。	多様で豊かな市民力あふれる生活都市にふさわしい産業・観光の創出・育成に継続的に取り組み、地域の付加価値を高める、ふれあいと活力のあるまち
	11 都市農業の振興	農地の有効活用を図り、適正に保全することにより、都市と農地が共存し、市民生活を豊かにする力強い小金井農業を目指します。	多面的機能をもつ農地の適正な保全を図り、有効活用することにより、都市と農地が共存し、市民生活を豊かにするまち

政策	施策	目指す姿	修正案
子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	日常生活の中では体験しにくいことを経験する機会の提供や子どもの権利の保障、安心して過ごせる居場所を提供することで、生まれ育つ環境に左右されず、すべての子どもがいきいきと健やかに安心して暮らせるようにします。	日常生活の中では体験しにくいことを経験する機会の提供や子どもの権利の保障、安心して過ごせる居場所を提供することで、生まれ育つ環境に左右されず、全ての子どもがいきいきと健やかに安心して暮らせるまち
	13 子育て家庭の支援	社会全体で子育て家庭を支えます。そのための支える施設、体制を確保して、様々なニーズに応じた支援をします。また、特別な配慮を要する家庭にも、きめ細やかな支援を推進することで、家庭がやすらぎと笑顔に満ち、子育ての楽しさ、喜びを実感できるようにします。	子育て家庭を支える施設、体制を確保し、様々なニーズに応じた支援を行うとともに、特別な配慮を要する家庭にも、きめ細やかな支援を推進することで、家庭がやすらぎと笑顔に満ち、子育ての楽しさ、喜びを実感できるまち
	14 子育て・子育て環境の充実	次世代の小金井市民を育てていくための地域環境を整備することによって、地域の様々な人々が安心して、楽しく、豊かな子育て、子育てができるようになります。	次世代の小金井市民を育てていくための地域環境を整備することによって、地域の様々な人々の関わりにより、安心して、楽しく、豊かな子育て、子育てができるまち
	15 学校教育の充実	第3次明日の小金井教育プランを計画的に推進し、一人一人の子どもが未来を創造する当事者として、活発な好奇心をもち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに育つための学校教育を実現します。	第3次明日の小金井教育プランを計画的に推進することで実現する、一人ひとりの子どもが未来を創造する当事者として、活発な好奇心をもち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに育つための学校教育が充実しているまち
	16 学校環境の整備	安全で安心な学習環境の整備・充実に取り組み、児童・生徒が学習に集中することができ、豊かな学びと育ちを支える学校環境をつくりまします。	安全で安心な学習環境の整備・充実に取り組むことで、児童・生徒が学習に集中することができ、豊かな学びと育ちを支える学校環境があるまち

政策	施策	目指す姿	修正案
文化 と 生涯 学習	17 芸術文化の振興	日常の中で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得ることで、一人ひとりが個々の感性で芸術文化を主体的に楽しみ、心豊かに暮らしていけるまちを実現します。	日常の中で芸術文化の鑑賞や体験の機会を得て、一人ひとりが個々の感性で芸術文化を主体的に楽しみ、心豊かに暮らしていけるまち
	18 国際交流・都市間交流の推進	国際交流事業や、友好都市三宅村を始めとした他自治体との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深めるとともに、交流の輪を広げていきます。	国際交流事業や、友好都市三宅村を始めとした他自治体との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深めるとともに、交流の輪を広げていくまち
	19 人権・平和・男女共同参画の尊重	人権や平和に対する意識や、男女が互いに認め支え合う意識を高めることで、誰もが個人として尊重され平等に暮らせる、一人ひとりが輝いて生きることができるまちを目指します。	人権や平和に対する意識や、男女が互いに認め支え合う意識を高め、誰もが個人として尊重され平等に暮らせる、一人ひとりが輝いて生きることができるまち
	20 生涯学習の振興	誰もが生涯を通じて学ぶことができる環境や機会を持ち、人生100年時代に向けて自己実現と地域貢献ができるまちを目指します。	誰もが生涯を通じて学ぶことができる環境や機会を持ち、人生100年時代に向けて自己実現と地域貢献ができるまち
	21 スポーツの振興	「豊かな生涯をスポーツとともに」を基本理念に、スポーツを気軽に親しむことができる環境や機会があり、誰もが楽しく元気に、仲間づくりを通して、生活の豊かさが向上されていくまちを実現します。	「豊かな生涯をスポーツとともに」を基本理念に、スポーツを気軽に親しむことができる環境や機会があり、誰もが楽しく元気に、仲間づくりを通して、生活の豊かさが向上されていくまち

政策	施策	目指す姿	修正案
福祉と健康	22 福祉のまちづくりの推進	福祉における制度の枠組みを超え、地域の高齢者、障がいのある人、子どもなど全ての人々が支え合う体制・環境を実現することで、互いに助け合いながら安全・安心な生活を送ることができるようにします。	福祉における制度の枠組みを超え、地域の高齢者、障がいのある人、子どもなど全ての人々が支え合う体制・環境を実現することで、互いに助け合いながら安全・安心な生活を送ることができるまち
	23 高齢者の生きがいの充実	高齢者の地域での社会参加を促進することで、生きがいを持ち続け、安心して暮らせるまちを実現します。	高齢者の地域での社会参加を促進することで、生きがいを持ち続け、安心して暮らせるまち
	24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	医療や介護の専門職だけではなく住民主体の生活支援の取組なども支援することで、高齢者が住み慣れた場所で自立した生活が続けられ、いつまでも自分らしく暮らすことができるようにします。	医療や介護の専門職だけではなく住民主体の生活支援の取組なども支援することで、高齢者が住み慣れた場所で自立した生活が続けられ、いつまでも自分らしく暮らすことができるまち
	25 障がい者福祉の充実	障がい者の生活・就労支援、地域における交流の場を設けることの支援を通じて、「障がいのある人もない人もそれぞれが尊厳あるひとりの小金井市民として自立し、住み慣れた地域でともに支え合いながら、安心して暮らしていける共生都市・小金井の実現」（小金井市障がい者ビジョン）を目指します。	障がい者の生活・就労支援、地域における交流の場を設けることの支援を通じ、『障がいのある人もない人もそれぞれが尊厳あるひとりの小金井市民として自立し、住み慣れた地域でともに支え合いながら、安心して暮らしていける共生都市・小金井』を目指すまち
	26 健康の維持・増進	生活習慣病と健康づくりに関する正しい情報の普及と共有を通じて、私たちが生涯を通じて健康的で質の高い生活を送ることができるようにします。	生活習慣病と健康づくりに関する正しい情報の普及と共有により、私たちが生涯を通じて健康的で質の高い生活を送ることができるまち
行政運営	27 市民参加・協働の推進	多様な市民の意思を市政に取り入れながら、私たちみんなの力で地域課題を解決します。	多様な市民の意思を市政に取り入れることで、私たちみんなの力で地域課題を解決するまち
	28 積極的な情報発信	誰でも必要な情報を得ることができ、信頼関係のある開かれた市政を実現します。また、私たちの市の魅力を広く伝えていくことで、誇りや愛着を醸成するとともに、多くの人から選ばれるまちを実現します。	誰でも必要な情報を得ることができ、信頼関係のある開かれた市政が実現されたまちであるとともに、私たちの市の魅力を広く伝えることにより、誇りや愛着が醸成された、多くの人から選ばれるまち
	29 計画的な行財政運営	長期総合計画に基づく施策を着実に実施するとともに、持続可能な行財政運営と市民サービスの維持・向上を実現します。	長期総合計画に基づく施策を着実に実施し、持続可能な行財政運営と市民サービスの維持・向上を実現するまち

各課への事前質問回答(令和2年2月5日現在)

施策	箇所	質問	回答
施策22	施策の方向性①	民生委員・児童委員の役割全般を考えたとき、「高齢者などの見守り」をここでとりあげた主旨を教えてください。 「役割の適正化」というところから、何らかの課題があるのは何となくニュアンスとしては拾えるが、具体的にどんなことか。	民生委員・児童委員は生活困窮者、高齢者、心身障害者、児童、母子など援助を必要とする人の相談・指導・助言活動を行っているが、代表的な活動を示した。 「役割の適正化」の課題は、欠員が多いと欠員地区をそれぞれの民生委員がカバーする必要があるため、負担が大きくなること。
施策22	現状	ここでの「地域活動」は「地域福祉活動」と表現することもできるかと思うが、「地域活動」としたところには何か意図があるのかを教えてください。	広義に町会・自治会等を基盤とした地域における活動の意としている。また、文言については地域福祉計画の基本目標・施策との整合性を取っている。
施策23	現状	元気な高齢者の定義とは。(ex.認知症になっても元気な方はいるので、その場合は当てはまるのか)	要介護・要支援認定を受けていない高齢者を想定している。
施策24	課題	高齢者施策について分野を超えた取り組みが必要です、とあるが、分野を超えるとは具体的に医療と福祉以外の分野も含まれているのか教えていただきたいです。	医療・福祉以外にも、住民主体の取組の支援に際しては、地域の方との協働が必要であるし、市の施策で対応が可能な取組については、庁内で横断的な連携が必要な場面も生じると考えている。
施策25	目指す姿	「地域における交流の場を設ける」というのは障がいのある人もない人も一緒のというように捉えたいが、文面上だと、「障がい者の地域における交流の場」のようにも読み取れるような気がします。如何か。	目指す姿の後段に、『住み慣れた地域でともに支え合いながら、安心して暮らしていける共生都市・小金井』とあるように、「障がいのある人もない人も」とともにという意味合いで記述している。 しかしながら、障がいの「ある人」と「ない人」という2分化の考え方ではなく、すべての様々な人が共生していくという考えのもと、施策を進めていきたい。
施策25	施策の方向性①	「意識づくり」は非常に重要なことだと思うのですが、意識づくりのきっかけになる「場」を積極的につくっていくという考え方もあるのではないかと思います。「意識づくり」にはどんなことをお考えか教えてください。	「市民一人ひとりの理解と交流を育む意識づくり」は障害者計画・障害福祉計画における「小金井市障がい者ビジョン」における4本の柱のうちの一つとなっている。 障害者計画における、具体的で分かり易い施策としては「広報・啓発活動」として「市民に対する啓発活動の推進／市職員の障がいのある人に対する理解促進／福祉・人権教育の充実／障害者週間行事の開催」を考えており、さらに、保健福祉に係る各計画に共通する基本的な視点や理念を示す計画である地域福祉計画には「ノーマライゼーションの推進」として「保健福祉教育の充実」、「市民に対する啓発活動の推進」を挙げている。

施策	箇所	質問	回答
施策25	施策の方向性③	障がいの予防とは具体的に何か。	<p>「障がいのある人が安心して暮らしていくための仕組みづくり」は障害者計画・障害福祉計画における「小金井市 障がい者ビジョン」における4本の柱のうちの一つとなっている。</p> <p>この説明の中に「高齢化がますます進行する中で障がいのある人自身の高齢化だけではなく、その介護者の高齢化といった問題も深刻になってきています。こうした障がいのある人や介助者の高齢化への対応という視点から、高齢者福祉施策等と連携した施策を推進します。</p> <p>また、障がいの発生時期や原因は様々であり、医療・保健との連携により疾病や障がいを早期に発見し、適切な治療・リハビリテーションを行い、障がいの予防や軽減を行います。</p> <p>発達障がいについては、乳幼児期からの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の構築を図り、個々の特性を踏まえた専門性の高い療育を身近な地域で受けられるように施策を実施するなど、発達障がい者支援の一層の充実に向けて、関係部署と連携を取りながら取り組んでいきます。」とある。</p> <p>この障害者計画における、具体的で分かり易い施策としては「保健・医療の充実」として「医療・リハビリテーション相談の充実／療育相談／歯科相談／障がいの早期発見・療育／障がい者健康診査／医師による訪問健康診査／重度障がい者(児)・在宅難病患者への訪問看護／精神保健医療相談／リハビリテーション体制の整備」を挙げている。</p>
施策26	施策の方向性	目指す姿で「生涯を通じて健康的で質の高い生活を送る」が示されている中で、フレイル予防であったりACP(人生会議)なども施策の方向性のどこかに入れられると良いのではと思ったのですが、難しいでしょうか。	「フレイル予防」及び「ACP(人生会議)」については新しく出てきた概念であり、他課との関連性についても今後研究の余地があるため、現段階では、施策に入れることを考えていない。

各課への事前質問回答(令和2年2月17日追加)

施策	箇所	質問	回答
施策1	現状	「みどり」に街路樹は、含まれないのか。	「みどり」に街路樹は含まれる。 【参考】みどりとは、公園、緑地、農地、街路樹、学校・大学の樹木など。
施策1	現状	「緑化の指導」が水の保全にどうつながるのか。	緑化は、地下水の涵養量を確保し、健全な水環境の保全につながる。
施策1	現状	「水」の現状施策は、モニタリングしかないのか。	地下水・湧水の保全のための直接的な取組としては、雨水浸透柵の普及や開発行為において環境配慮指針の励行を求めること等があるが、同時に、地下水や湧水の状況をモニタリングし、公表することが、市民の意識を啓発し、自発的な保全活動を促す重要な施策と考えている。
施策1	課題	「水」に関する課題はないのか。	令和4年の生産緑地問題により、これまで以上に農地の宅地化等が進むと考えられており、地下水の涵養地は確実に減少する。引き続き浸透柵等の設置は求めるものの、湧水の減少に伴う野川の瀬枯れなどが懸念されており、農家ができるだけ農地を維持できる施策や、雨水をできる限り下水に流さないインフラ整備が求められる。
施策1	施策の方向性①	「協働による美化活動」協働とは、誰と誰か。美化活動の対象はどこか、公園か。	環境美化サポーター制度に基づき、市と市民・事業者が協定を締結し、公園及び道路の清掃活動に取り組んでいる。
施策2	目指す姿	「私たち」とは、誰と誰か。市民との協働との違いは。	市民、事業者、行政を指しています。3者が相互に協力・連携することで、相乗的な効果を得ることができると考えている。第5次基本構想(素案)にて、市民、団体及び事業者、そして行政である市を「私たち」と定義しているため、この表現としている。
施策2	現状	焼却灰の削減、不燃ごみ再資源化とは、具体的に何か。	可燃ごみを焼却処理した後に発生する焼却灰を削減するため、元となる可燃ごみの減量及び資源化に取り組む。 また、不燃ごみを埋立処理せずに、再資源化するため、ガス化熔融処理を行うことで化学原料として再生利用するなど、リサイクルに取り組む。
施策2	現状	「路上禁煙を周知し」と「ごみのポイ捨て防止、不法投棄防止」は、別の施策ではないのか。つながって読める。	別の取組だが、「路上禁煙地区の周知を徹底し、ごみのポイ捨て防止に取り組む」と「不法投棄の防止に取り組んでいます」から構成する文章として記載している。
施策3	現状	「雨水貯留施設」は、どのように環境保全につながるのか。	下水に流れてしまう雨水を貯留し、植栽への水やりや洗車などに利用することで、水道水を節約できるだけでなく、地下水の涵養や下水の越流防止にも繋がり、環境を保全することができる。

施策	箇所	質問	回答
施策3	施策の方向性③	「水質調査や大気汚染の測定」が直接「公害発生の防止」になるのか。	公害発生を直接防止するのは、主に事業者に対し関係法令の遵守を求めることであり、代表的なものは開発行為における環境配慮指針の励行であるが、近年では住宅地での騒音など、生活型公害も増えている。このような中、定期的に測定を行っている事実は、一定の抑止力になると共に、その結果の公表が市民の意識啓発にも繋がると考えている。
施策3	施策の方向性③	「調査項目の維持、機器の充実」をすることで公害発生を防止することができるのか。	調査項目を維持し、小金井市の状況を市民に公表することが、市民に安心を与えると共に公害に対する意識啓発にも繋がり、結果として公害発生の防止に繋がると考える。また、機器の充実は、正確な状況を把握するためには不可欠であると共に、公害調査に対する市の取組姿勢が、公害発生の抑止力にもなると考える。
施策4	現状	「市民との協働によるまちづくり」とは具体的に何か。	小金井市まちづくり条例に基づく、住民参加による地区まちづくり協議会等がある。
施策4	課題	市街地の整備の課題列挙の順番として「みどりの保全・活用」は、後の方が納まりがよい。	修正案を起草委員会に提示します。
施策4	施策の方向性①	市街地の整備では、ハードな施策が想定されるが、「市民が主体となったまちづくりを推進」となると市民が整備するように読める。	「市民が主体となったまちづくり」には地区まちづくり協議会等において、市民主体によるまちづくり計画の作成・提案を行うことができるため、そのように記載をしている。
施策5	現状	「街路灯のLED化」が安全性高める理由を書いた方がよい。	修正案を起草委員会に提示します。 「市道上における街路灯のLED化」⇒「市道上における街路灯のLED化による明るさの向上」に変更。
施策5	課題	雨水浸透施設の設置がなぜ下水道の改善になるのか書いた方がよい。	修正案を起草委員会に提示します。 「下水道への雨水流入量を減らすため、雨水浸透施設の設置をより推進することが必要です」に修正。
施策5	施策の方向性②	「住環境」「生活環境」の使い分けがわかりづらい。	「住環境」は住宅及び住宅を取り巻く環境、「生活環境」は市民の日常生活に直接又は間接的に関わっている環境をイメージしている。
施策5	施策の方向性①	「宅地化の際」とは、具体的に。	「宅地化の際」とは、「小金井市まちづくり条例第37条に規定する宅地造成及び建設事業の際」を指している。
施策5	施策の方向性①	「緑地等の整備」は、「環境保全緑地制度」により進めるのか。	環境保全緑地制度はあくまでも緑地等の保全を図るための制度であり、緑地等の整備については、公園と同様に宅地開発等指導要綱に基づき整備する。

施策	箇所	質問	回答
施策5	施策の方向性①	「個性ある坂道づくり」も「環境保全緑地制度」により行うのか。	修正案を起草委員会に提示します。環境保全緑地制度は緑地、樹木、生け垣等のみどりを保全する制度であるため、「坂道」は対象ではない。「個性ある坂道づくり」については、現状を維持・保全する意味で記載しているが、具体的な事業等が検討されていないため、ここでは削除。
施策5	施策の方向性②	「農地を保全」が「生活環境の整備」になるのか。	農地には安全安心な農作物を作るだけでなく、環境保全機能、防災機能、景観形成機能、健康増進機能、生物多様性の保全機能等多様な機能があることが評価されているため、農地の保全が生活環境整備になると考えている。
施策5	施策の方向性②	耐震化支援と施策の方向性③の耐震化の違いは。	耐震化は耐震診断を実施して地震に対する安全性に適合することを明らかにすること又は耐震改修等を実施すること。耐震化支援は、耐震化をする前段の耐震簡易診断、耐震相談、電話やリーフレットによる耐震化の促進、耐震化のための講習会の実施等、耐震化を普及・促進するための支援を示す。
施策5	施策の方向性③	ブロック塀の撤去はどのように行うのか。	道路に面する倒壊の危険性のあるブロック塀等について、当該塀の所有者に対して塀の撤去に要する費用の一部を助成することで、撤去を促進する。(助成制度は令和2年4月運用開始予定)
施策6	現状	「橋りょうなどの老朽化」は、最初なので「橋りょう及び歩道橋の老朽化」と書くべき。	修正案を起草委員会に提示します。
施策6	現状	現状で「47.7%」は「着実に推進」ではなく「整備を進めているが周辺に比べ遅れている」では。	修正案を起草委員会に提示します。「平成30年度末で約47.7%であり、事業中の路線について整備を進めています。」に変更。
施策6	現状	「管きよの維持管理の充実」と「水質の監視」は、文を分けるべき。	修正案を起草委員会に提示します。「水質の監視」は事業として継続して実施するもの、「都市インフラの整備」の趣旨とは異なるもののため、文章としては削除。
施策6	課題	「下水道の～長期経営が重要」は、唐突感がある。独立採算、公営企業等の説明が必要では。	修正案を起草委員会に提示します。インフラ整備に焦点を当てた書き方とし、「計画的な下水道施設の維持・管理が必要です。」と変更また、「施策の方向性」の表題を「持続可能な下水道事業の実現」に変更。
施策6	施策の方向性②	「計画に基づいた」の計画と何か。	修正案を起草委員会に提示します。「計画」→「橋りょう長寿命化計画」
施策6	施策の方向性③	「市道ならびに都市計画道路」意味合いが違う単語を並べており分かりづらい。	修正案を起草委員会に提示します。「市道ならびに都市計画道路の整備時には」を「無電柱化推進計画に基づいて」に変更。

施策	箇所	質問	回答
施策6	施策の方向性④	説明文の中に「都市計画道路を拡幅等整備するにあたっては」と入れた方が分かりやすい。	修正案を起草委員会に提示します。 「都市計画道路を拡幅等整備するにあたっては」を追加。
施策6	施策の方向性⑤	内容が唐突 現状、課題に説明が欲しい。	修正案を起草委員会に提示します。 ご指摘の通り、現状欄と課題欄にそれぞれ追記。
施策7	現状	「交通管理者及び道路管理者と連携」とあるが、市は道路管理者ではないのか。	「交通管理者」は所轄警察署、「道路管理者」は市道は市、都道は都という位置づけです。
施策7	課題	「道路反射鏡などの老朽化」は、道路反射鏡など交通安全施設の老朽化とすべきでは。	修正案を起草委員会に提示します。 「道路反射鏡などの老朽化」→「道路反射鏡など交通安全施設の老朽化」へ変更。
施策7		「バス再編事業」は現在、存在しているのか。	平成30年度から令和3年度までの事業として実施中。
施策8	目指す姿	目指す姿に公助の視点も加えた方がよいのでは。	大災害時には自助と共助が最も大切であり、公助はそれらのサポートであるという観点から、あえて自助と共助の強化をクローズアップしている。
施策8	課題	課題の人材育成は、市民なのか、行政側なのか。	ここでは主に市民を考えている。
施策8	施策の方向性②	人材育成のための施策はないのか。	修正案を起草委員会に提示します。 施策の方向性②自主防災組織の充実について、「地域で自主的に防災活動に取り組む人材の育成を促進するため、自主防災組織のない町会及び自治会に結成を積極的に働きかけるとともに、既存自主防災組織の活性化や組織の人員増加を図ります。」に修正。
施策9	施策の方向性②③	指標になる取組が上にくるべきではないか。	修正案を起草委員会に提示します。 施策の方向性②と③を入替。